

第12回ねごろ医用実学研究会講演会（2022/03/12実施）

番号	在校生の感想
1	今後役立つ話を聞けてとてもよかった。この経験をいかしていきたい。
2	少し難しい内容があったのですが、とても有意義な時間でした。
3	臨床工学技士になる上での医師からの目線で、できる技士になるために患者のことを理解することや手術のことをよく理解することがとても大切なことだとわかりました。
4	これから医療の仕事に携わる上で大事な心得などを理解することができ、もっと知識を身につけて社会に貢献したいと思いました。
5	とてもモチベーションが上がりました
6	新しい知識を得ることができ良かったです。
7	講演していただいた先生方は、臨床工学技士はチーム医療の縁の下での力持ち的な立場であり、病院のレベルが上がるとも言っておられました。これを受けて、しっかり医療や医療機器の勉強をして応用できるようにしたいと思います。また、医療機器メーカーに就職して医療機器の開発をしたとき、様々な難題があることが分かったので、教訓としていきたいと思います。
8	まだまだ知らない事が多いと思った。
9	先生方のお話を聴いて、臨床工学技士は患者さんを救うにあたって、とても重要な仕事をしていると改めて感じました。
10	人工心臓が心臓手術において重大な役割を担っているということが分かりました。そして、その装置を扱う臨床工学技士には大きな責任がついてくるのだと感じました。
11	難しいと感じる部分もあったが自分で調べ糧となるようにしていきたい。
12	医療職だけでなく、長年、世界の最先端や激務をこなしてきた方の演説は自分の人生にとって重要な価値観になるだろうと感じました。
13	本日はありがとうございました
14	本日はなかなか聞くことのできない貴重なお話や動画を見せていただいて感謝でいっぱいです。今日学んだ事をこれからの学校生活に生かして行きたいです。
15	3つとも内容が難しく感じたので、これからもっと勉強をしてこれらの内容を理解できるようになりたいと感じた。
16	大変ためになる講演でした。今後の人生に活かしていきたいと思います。
17	心臓血管外科の手順などの話では、知識が足りず、あまり内容を理解することが出来なかったもので、これから勉学に励み、理解できるようになろうと思った。
18	また、医療が日々進歩していて、必要な知識量が増えていくというのは分かっていたが、それを行動に移せていなかったと感じたため、これからは時間の使い方を考えて、病院で働く際に、医師や他の医療従事者に頼られる臨床工学技士になろうと思った。
19	勉強になることが多くあったと感じます。勉学での医療知識だけでは腑に落ちない点が今回で改善されたことがありました。
20	また自分を顧みるいい機会にもなりまた来年も参加したいと思いました。
21	大変勉強になりました。
22	とても分かりやすく、内容の濃い公演をしていただきとても良い経験となりました。今後の学生生活に役立てていきたいと思います。
23	園田先生の講演を聞いて、人工心臓のすごさを実感したと同時に、このような人工心臓がなかった時代はどのように手術を行っていたのか気になった。
24	色々な臨床での経験を聞いて良かったです。ありがとうございました。
25	まだまだ知らない事が多いと思った。
26	3年生が凄く為になる質問をすぐにできているのを見て、来年は自分も今の3年生のように自分の考えや意見を発言できるようになりたいと思いました。専門的で難しい内容もありましたが、働き方改革など、今後、自分自身に必ず影響がある話を聞いて良かったです。
27	1年生なのでまだまだ知識がなく難しかった。
28	実習でした内容を実際の手術動画を見せていただいたことでより理解が深まった。
29	臨床工学技士の責任を強く感じたと同時に、将来へのモチベーションとしていい経験になり良かったです
30	授業以外での場所で現場のことやこれまでの経験からの考えなどを聴けてとても良かった これからは現場での臨床工学技士の活躍した内容などが聴ければためになります
31	臨床工学技士になるにあたって、機械の知識のみではいけないことがよくわかりました。
32	座学で学んだことについてより深く理解することができた。
33	難しい内容でしたが楽しい時間を過ごさせてくださいました。
34	心臓の手術の話が面白かったです。最近、豚の心臓を人間に移植する話を聞いたので、さらに心臓の手術等に興味がわきました。良い経験になったと思います。
35	心臓外科医から見た臨床工学技士の役割や、これからの医療で期待される技術について聞くことができ、大変勉強になりました。
36	国家試験が終わり気が緩んでしまっていたのですが、講演を聞き、4月からプロとしての自覚を持って業務に携われるよう今から準備する必要があると感じました。医師の目線で必要とする臨床工学技士の像を聴くことができて良かったです。
37	自分の事を見直すいい機会となり、これからの目標も見えてきました。モチベーションも上げながら残りの春休みを充実したものにしていこうと思いました。
38	医療現場の現状や、臨床工学技士が実際医療現場でどのような役割を担っているのか、非常に詳しい話を聞けました。
39	実際の手術現場の動画を見させていただき、現場のリアルな緊張感などが感じ取れとても勉強になりました。
40	臨床工学技士になる上での心持ちの在り方を学ぶことができて良かったです。ご講演ありがとうございました。
41	山崎先生の講演が特に興味深く、これからの人生において必要なことも学べて良かったと思いました。
42	とても面白い講義をしていただきありがとうございました。私は勉強でしか臨床工学技士について知らなかったのですが、心臓手術の詳しい説明や動画はとても勉強になりました。
43	今後は病院だけでなく、企業で働く臨床工学技士の資格をもっている方のお話も聞いてみたいです。
44	特に園田先生のご講演が学びに繋がりました。今後もこのような詳しい術のテーマについて臨床工学技師が関わるお話の聴講を希望します

第12回ねごろ医用実学研究会講演会（2022/03/12実施）

番号	在校生の感想
42	知識だけでなく、医療者としての心構えや、社会人としての心構えなどを聞けたので、すぐためになりました。
43	人工心肺の動画をういての具体的な解説、人工心臓の普及するまでの歴史、医療現場の実情の昔と今等、病院実習に行った身としては復習になり、新たな知見も得られた充実した回になったと思います。大変貴重な経験でした。
44	臨床工学技士の職域の幅について深く考えたことが無かった為、とても為になった講演会だったと感じました。
45	実際の手術映像を見れて良かったです。臨場感がありました。工学系の事に興味があるのでそういったテーマの講演も聞いてみたいです。
46	心臓や循環器の話をより広く聞きたいです。
47	普段聴けないような貴重な講演を聴けて大変勉強になりました。
48	医療の現場は常に変化していている。ため、対応できることが重量である。また、自分の行動は思いのほか周りに見られているため心に余裕を持って行動することが大事だと感じた。
49	医療における技術開発、働き方など多岐にわたる領域での現実と展望について理解を深めることが出来た 臨床工学技士の役割が多岐に渡っていること、責任が多いこと、また素人ではないことと言うのが改めて分かった。
50	心臓手術のシーンは普段では見ることでできない部分なので大変興味深かった。 AI医療について現場の立場の人から話を聞いてみたいと思った。
51	実際の手術映像を見たり、臨床工学技士として求められることについて学ぶことができ、とても勉強になりました。
52	普段目にするのでできない手術映像を交えてのご講演で、大変勉強になった。 これから自分が携わっていく世界の現状や、これから意識していくべきことなどをイメージすることができ、大変有意義な講演だった。
53	実際の術中の映像を見ることやどのように行っているのかをリアルに見ることができわかりやすかったです。臨床工学技士としての役割、仕事に關しての関わり方を改めて理解しました。 臨床工学技士は医療現場の縁の下の力持ちであることを再認識できた。
54	手術中は船長やパイロットに身を任せているもの、と公演中に仰られていたが、全くもってその通りだなと感じた。実際に働く際には、周りとのコミュニケーションを積極的に取り、責任感のある臨床工学技士になりたいと改めて思った。
55	園田先生の講演が1番印象に残りました。心臓手術中の映像などを見る機会は滅多にないので貴重な経験でした。また園田先生、岡村先生がおっしゃっていた働き方改革や業務時間について、日本人はどうしても深夜まで勉強・仕事をした、ということを美学とする文化が根強く残っているような気がします。それを変えていくことがこれからの医療の発展にも大きく関わるのだと改めて感じました。 今回は臨床工学技士の主な業務であるうちの1つの人工心肺の操作についての講演でしたが、もうひとつの主な業務である透析についても講演を拝聴したいと思いました。
56	働くことにあたりその根本にあるのは、自分の意思の強さでありあらゆることに対して考えることをやめてはいけないということが勉強になりました。
57	実際の手術動画を見て、講義では理解しきれなかった部分を理解できた。今後も今回の講演を振り返りながら勉強したい。
58	分かりやすい講演でとても勉強になりました。ありがとうございました。
59	本日学んだ事は今後の活動に生かしていきたい。
60	人工心肺や外科手術など詳しく丁寧に教えて頂き、興味深く、自分の将来に非常に役立つ授業となった。今後聞きたいテーマとしてはコロナウイルスと医療機器の関係について、薬の治療でなく、医療機器がどのようにコロナウイルス治療に役立つかを知りたい。
61	人工心肺についてより詳しく学びたいと感じた
62	私は、小さい頃にファロー四徴症で、現在も1年に1回検査行ってるのですが、その先天性疾患の手術の様子などを動画に映してくださって、初めての経験だったので考え深いものがありました。
63	中々無いこんな機会を設けて下さってありがとうございました！ 臨床工学技士が、必要とされる存在だと、改めてわかった。
64	実習で学んだ内容を今回の講演で復習することができ、とても有意義な経験ができた。 医療についてだけでなく、自分を見直すきっかけにもしたいと思う。 今後の医療での先端技術についても気になっているため聞きたいと思っている。
65	園田先生の講演については、人工心肺関連の話を実際の術中映像を用いてどのような手技で行っているかを丁寧に説明してくださり、すごく視覚的にわかりやすい内容の印象だったと感じました。 また、山崎先生の講演については、補助人工心臓の話と記憶していますが、発展・開発の経緯など事細かくお話されていて、イメージしやすかったです。
66	岡村先生の講演については、医療の在り方などの話が特に印象的でした。最後の質疑応答については、医療関係者に関わらず働く人すべてに共通する事で印象が強かったです。 今回は循環器関係についての講演が多かったと思いますが、他の分野の講演も機会があればお聴きしたいと感じました
67	話の内容がとても面白く興味深いものであった。特に、最後の岡村先生の講演内の、困っている人を助ける医療従事者が困っていたら助けられないため、自分にゆとりを持つという部分がとても印象的であった。自分にゆとりができるような積み重ねをしていきたい。
68	園田先生が演説していた「臨床工学技士との深い関係」や「低侵襲手術」がとても興味深くおもしろかった。 人工心肺操作が一番大事なことであることを今回の講演で知り、将来自分が扱う上で操作ミスなどをしないように今以上に勉強に励もうと思った。
69	今後聞きたいテーマは人工透析です。
70	ご講演を聞いて改めて自分は医療従事者であるという自覚を持たなければならぬと感じた。 実際の心臓手術の映像で開胸や心臓を冷却するシーンが一番印象に残りました。

第12回ねごろ医用実学研究会講演会（2022/03/12実施）

番号	在校生の感想
71	普段、学校で講義を受けている中ではあまり聞けないようなお話をわかりやすく講演していただいていたことが良かったです。
72	医学的な話や臨床工学技士の在り方などの話まで聞くことができ、とても新鮮でした。
73	三名の先生方のご講演を受けて、自分が将来目指す臨床工学技士というものの対して、非常に励みとなりました。なかでも、医療職に就く方々の自己犠牲の気持ちで働く勇姿に心を打たれ、自分もそのような人のために尽くせるような医療従事者になりたいと思いました。
74	先生方の講演を聞いて、臨床工学技士の業務の責任の重さ、そして現場で求められている必要な知識や技術の多さを痛感した。急速に変化する医療についていくためにも、大学ではまずは病気や手術のこと、医療機器のことについての基礎的な知識をしっかり身につけたいと思った。
75	人工心臓を使った手術の映像を見ているときに、青いシールと赤いシールの張られたチューブで判断しているが、これを逆方向に接続してしまったら低酸素脳症を発症するため、ヒューマンエラーが一番恐ろしいと思った。
76	大学を卒業してからその先の社会での取り組み、向き合い方について考えさせられました。
77	どの先生方でもご自身の経験を踏まえての講演でしたのでとても興味深かったです。特に、一番最初の園田先生は、心血管外科の専門的な部分を動画を用いて説明してくださったので、興味を持ちました。
78	MICSやTAVIについて初めて知ったことが多く難しかったが、臨床工学技士は心臓手術を支える存在なので、今後に役立たせるような話を聞けてよかった。
79	実際の手術中の映像を見ることで、授業で学んだ内容を視覚を使うことでより具体的に理解することができ、理解度を高めることができました。また、実践的なことだけでなく、医療従事者を目指す上での心の持ち方や考え方を改めて見直すことができました。月300時間没頭できるぐらいの積極性、探究心を持ちながら私も働けるようになりたいと思いました。
80	今日の講演を聞いて、医療体制や保険関係の構造について聞いてみたいと思った。
81	どの講演も私たちのためになることばかりで将来について考えることのできる大切な機会となりました。特に岡村先生の高齢化の話はよく耳にする内容であったのでこれからも向き合っていけない課題であると実感しました。
82	特に印象に残っていることは、主に人工心臓装置に関する手術の映像などを見ながらその手術の概要を説明していただいたことである。その中で感じたことは、私が思っている以上に臨床工学技士にも責任と義務が伴っており、かつチーム医療において、かけられた期待に応えなければならないということだった。できる技師とできない技師の違いに関してのお話もあったが、どうせ働くならば、患者さんのためにできる最大限の医療を提供できるように、自分にできる最大限を尽くせる技師になりたいと思った。そのためには膨大な勉強量が必要であると感じた。もう1年生も終わり、ME2種の試験もそろそろ考えなくてはならない時期になった。自分のため、今後私が関わる患者さんのために、私に今できることをしようと思う。
83	今後聞きたいテーマとしては、コロナウイルスと臨床工学技士の関係性に関することである。コロナウイルスの影響で、人工心臓装置や心臓手術のリアルな写真や動画にはじまり、人工心臓の開発の過程、現在の医療現場の労働状況まで、とても濃い内容の話を聞くことができ、今後、臨床工学技士として働く際のモチベーションが上がった。特に、最後にご講演いただいた岡村先生の、「自分のことを他人はよく知っている」という言葉がとても印象的だった。志をしっかり持ち、他人に見られても恥じない行動を積み重ねることが、学生から立派な社会人になることに繋がると思った。
84	解説を聞きながら手術映像を見れたことはとてもいい経験になったと思います。難しく理解が追いつかない箇所もありましたが、今日聞いたことを忘れないように臨床工学技士を目指したいと思います。
85	人工心臓装置について知れてよかったです
86	心臓血管外科についての知識や、この分野に関する臨床工学技士の業務等を現場で活動する方々から伺う事が出来て、とても良い刺激になりました。今回の講演の中で気になった点や基本的な知識の復習も兼ねて、メモに残した点について自身で更に学習していこうと思います。
87	今後聞きたいテーマは、山崎先生の講演での質問にもあった完全置換型臓器の研究についてです。
88	非常にためになる講演でした。
89	貴重な話を聞くことができ、自分自身へのスキルアップになった。
90	しかし、自分自身の知識不足のため、完全に話を理解することはできなかった。
91	本研究会を拝聴して、これからも精進していきたいと改めて思った。
92	心臓血管外科治療について詳しく知ることができたので、今後の勉強に役立てたいと思います。
93	園田先生のご講演では、心臓外科手術の流れや方法、その中での臨床工学技士の仕事などについて良く分かった。MICSやロボット手術、TAVIなどの手術の特徴や注意点などについて学ぶことができた。実際の手術の映像が見ることができ、どのようなことが行われているのかも学ぶことができた。山崎先生のご講演では、植め込み型の人工心臓がどのような過程を経て開発されたかや医療現場での働き方改革についてなどを知ることができた。日本では、医療機器の臨床での研究や承認などが難しいことが改めて良く分かった。岡村先生のご講演では、臨床工学技士の仕事の役割や重要性、高齢化社会での医療について良く理解する事ができた。また、日本の医療現場は、アメリカに比べると病因と介護施設を合わせたものであり、病床当たりの医師や看護師の人数が1/5であることを知った。今後聞きたいテーマは、人工呼吸器の開発や研究についてです。
94	これから働くので勉強になる内容を聞けて良かったです
95	貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。先生方が、月何百時間もかけて患者に向き合っていたという話を聞き、医療機器に関することだけでなく、その医療機器が関わる手術がどのような手順で行われ、どのようなリスクがあるのか理解する必要があると強く感じました。後に後悔しないよう、勉学に励みたいと思います。
96	今日の講演会で、日頃の講義や日常生活の中では見ることができない手術の映像をみることができ、非常に良い経験になることが出来ました。また、一つの医療器具をつくるのにとても長い時間や人生をかけ作っていると知り、それが強く印象に残りました。医師や医療従事者の働き方についても今後考えていく必要があるなと感じました。
97	今回の講演会では普段では決して聞けない内容だったのでとてもいい機会でした。また今後臨床工学技士になるために必要な心構えやスキルなどの具体的なお話が聞けたので、より鮮明に将来、自分が就く仕事について理解が深まりました。

第12回ねごろ医用実学研究会講演会（2022/03/12実施）

番号	在校生の感想
94	臨床工学技士という職業は非常にマイナーであり、医師を志す友達「臨床工学技士」と言っても「なにそれ？」と言われることが多々ある中、実際に現場で活躍していらっしゃる先生方から「臨床工学技士はなくてはならない存在である」というお話を聞き、大変嬉しく思いました。私は幼い頃2度、川崎病を患っています。その影響で、心臓手術に関わる仕事がしたいと思い、臨床工学技士を志しました。まだ1年生なので実際の手術映像は見たことがなく、ましてやTAVIという治療法やその他の複雑な病名は分かりません。ですが、ご講演の中で見た映像はものすごく衝撃を受けました。実際に開胸し、心臓が動いているのを見ると言葉ではうまく表せませんが、「本当に動いてるんだ」と感動しました。そして、その心臓を止めて手術をするというのはものすごく大変なことであり、その命を安全に保つ存在が臨床工学技士であると再認識することができました。 今後はもっと病名に関しての知識や最先端の医療情報を自主的に学んで、このような講演が今後あったときに自分の興味をもっと引き出せれるといいなと思うことができました。 貴重な講演、本当にありがとうございました。
95	医療での実際の現場の状況や、最新の技術を使った手術、人工心臓の成り立ち過程など言葉にするのは大変難しいのですが、色々学ぶ中でこれからのことに生かしていきたいと強く思いました。
96	とても有意義な時間でした。
97	話がどれも凄すぎて話を聞くことができてすごく光栄でした。 また、岡村先生が最後におっしゃっていた成績によって年俸が変わったり解雇されたりするということを聞き、園田先生が医師の働き方についておっしゃっていた自分が頑張れば頑張るほど患者はよくなったり、早く一人前になりたいからプライベートは二の次になると、ある意味自己犠牲の風潮が残るということがとても理解できたとし、今まで働き方改革によって労働が改善されいい案だと思っていたけど、医者は2024年までに安易な残業を減らすことを急に政府に告げられても、それまでその要領でやってきた医者には減らすことは難しいだろうし、医者に対する待遇をもっと考えて行かないと3Kに近いことによって辞めてしまう医者が増えるのではと思いました。 今回、医者から見た臨床工学技士についての意見が聞けてすごくモチベーションになったので、臨床工学技士の1日をもっと具体的にだったり臨床工学技士の増えていくであろう業務内容についてを知りたいなと思いました。
98	助かるのが当たり前という医療を提供するには失敗が許されない仕事をするのだと改めて感じました。
99	今後の医療現場で起こり得る事やMEの重要性についてわかりました。これからの生活に活かしていきたいと思います。
100	園田先生のテーマで実際に心臓移植の動画をみれて良かった。また、適応となる患者や完全に移植しない理由を知ることができて良かった。そして人工心臓がどのように出来たのか具体的な過程を講演で話して下さり勉強になった。
101	貴重なお話ありがとうございました。御三方のご講義を聞いて、自分が医療従事者になる場合の覚悟や責任感が足りないなと感じた。もっと自分を見て日々精進して行きたいなと思います。また、開発の難しさを身に染みて感じました。一生幸せに暮らすために努力していきます。
102	心臓血管外科手術の実際の映像を見て、体温を下げるために氷水(?)を直接胸腔に入れる等、想像していたよりも荒っぽい手法だったことに驚きました。体外循環など、心臓血管外科手術における臨床工学技師の役割と必要性が理解できました。また、他のコメディカルや同じ臨床工学技師とのチームとしての連携や、医者に頼られるような臨床工学技師としてのあり方を学べました。 医療機器の保守管理に着目した講演を聞きたいです。
103	まだ一年で専門知識がほとんどないため少し難しく感じたが、将来臨床工学技士になるためにとても有意義な講演会だったと思う。
104	医療分野の深い内容についての講演を聞くことができて、とても貴重な時間を過ごすことができました。このような機会で見られないような実際の手術映像などを見ることができて良い勉強になりました。ドナーが少ない現状ですが、ドナーの代わりとなる人工心臓がより普及してほしいと思いました。医療技術が進歩している中で、新しく開発している医療技術があれば、そのテーマについて聞きたいです。
105	どの先生の講演も非常に聞きやすく臨床工学技士の業務だけでなく、病院内での立ち位置などを改めて知ることができました。特に園田先生の講演内容は病院実習に行く前にぜひ聞いておきたかった内容でした。
106	とても専門的な話がたくさん聞けていい経験になったと思います。このような貴重なお話を、より吸収できるように専門的な知識をもっと身につけていけるようにしたいと思いました。 第十二回ねごろ医用実学研究会に出席した事で新たな知識や、貴重なお話を聞くことが出来、私自身が臨床工学技士になりたいという気持ちが大きくなり、モチベーションが向上した。 また、どの講演も自分自身の人生を踏まえ、分かりやすく話をして下さり、非常に聞きやすかった。
107	園田拓道准教授が講演してくださった、小さな切開で行う低侵襲手術であるMICSやTAVIなどの手術方法は、私自身全く知らなかったので、映像を通して非常に感激した。また、これらの手術は、臨床工学技士や他の医療従事者がチーム医療で行っているため、連携を取る事は非常に重要である事が再確認できた。 そして、山崎健二所長の講演では、自分自身の人生を踏まえてお話してくださったのと同時に、実用化するまでの苦難や、実用化するまでの流れを分かりやすく教えて頂き、非常に勉強になった。
108	貴重なお話を聴講させて戴き、ありがとうございました。今までの医療の進歩の歴史、その医療に携わってきた方々の話や、医療のこれからの話を実際に働いていた方から聞いたことがとても新鮮で、どれも印象に残りました。臨床工学技士に何を求められているのか、これから自分がどのような現場で働くのか、聴講する前より遥かに想像し易くなりました。 ありがとうございました。また機会がございましたら是非、参加させて戴きたいです。
109	人工臓器開発についてより詳しくお聞きしたいと感じました。
110	心臓手術の概要や植え込み型人工心臓の開発などの普段の講義では聞けないような貴重な話を聞くことができ、臨床工学技士の役割を再確認することができた。
111	AIの発達とそれによる医療の改革に興味があります。

第12回ねごろ医用実学研究学会講演会（2022/03/12実施）

番号	在校生の感想
112	自分には未だ想像し得ないとても貴重なお話が聞けて面白く有意義な時間でした。 今後、さまざまな技術が発展していく中で、人間の仕事や役割が機械やAIに取って代わられることが各分野で懸念されています。その中で、それぞれ臨床工学技師のような機械の管理・保守点検職は需要が残る、ともすればより高まるだろうというような見方が多くありますが、いずれはそれすらも機械やAIに淘汰されるのではないかと想像しています。そしてそれは技師だけでなく医師など医療職全般にあり得る話だと考えています。いつになるかわからない未来の話ではありますが、そうなったときの医療者の立場、展望がどのようなものか、我々学生の空想でなく、医療現場の前線に携わってきた方々のご意見を聞いてみたいと思いました。
113	これからの臨床工学技士に期待することや、臨床工学技士の必要性を医師目線で知ることができて、すごく勉強になった。それ以外の内容も興味深いものばかりであった。 今後聞きたいテーマとして、AIによる未来の医療や、CT画像をAIで分析する人たち、といった内容のものが聞きたい。
114	外科手術の中でも特に正確な技術と知識、対応力や迅速さを求められると思われる心臓の手術について、本講演会ほど深く聞ける機会はなかなかないため、貴重な資料映像や事例を拝見できてとても勉強になる時間を過ごすことができました。皆様医者という立場で過ごすことが大半の中、1人の人間としても充実した人生が送れるよう、自分自身の心身共に健康であることがいかに大事かというお話も聞け、仕事と自分のしたいこととの両立を目指して、これからも日々勉強と休憩のメリハリを大事に精進していきたいと思います。
115	特にVAD開発までの経緯が興味深かった
116	人工心臓、医療現場の現状などのことを臨床工学技士もこれから活躍する未来などが伺えることを知ることができたためになりました。通常では見ることができない貴重な映像を実際に見ることができたのは大変良い経験になりました。私も臨床工学技士になるためにより一層明確な目標を持つことができました。
117	私自身質問させていただき、とても刺激になる講演会でした。
118	難しい部分もあったがそれらを調べて糧にしていきたい。
119	今後の臨床工学技士になるために必要な知識を身につけることができた。
120	非常に素晴らしい貴重なお話や映像が見れて良かったです
121	様々な話題が聞けて良い機会でした。 とても勉強になった講演会でした。
122	特に、補助人工心臓の開発についての講演をお聞きして、機器、器具一つとっても、設計し臨床実験を行い認可等を受け販売する過程を踏んでいることを知り、大変感銘を受けました。
123	最後の岡村先生のご講演では医療者の今の時代に合った働き方改革のお話が分かりやすく、とても大切なことだと思った。
124	今日の講演で、臨床工学技士の役割について再確認することができ、尚且、病院の外での医療品開発のリアルな部分を知ることができて有意義なものだったと感じました
125	せっかく著名な先生方の講演が聞けたのに、勉強不足で理解が追いつかなかったのもったいないことをしたと思いました。 次の講演会のときには先生方の話を理解できるような勉強をしていきたいと思います。
126	実際の医療現場の様子や開発の過程を知ることができ、新たな知識を得ることができました。今後、臨床の場でさらに知識をつけていき、理解を深めていきたいと思いました。素敵なお講演ありがとうございました。
127	非常に内容が濃くわかりやすい講演ありがとうございました。今回の内容は、自分が今後関わるであろう分野が多くとても自分の役になったと感じております。今回の講演で学んだことを糧として今後の勉学に励みたいと思います。
128	現場のことについて、よりイメージがしっかりと掴めたので、この先のレポートや研究でも生かせるように頑張る
129	実際の手術の動画を見せていただいて、本物の臓器などを見ることが出来る貴重な体験ができたので良かったです。
130	VADの歴史や現在の臨床工学技士の現状、また実際の手術の動画などとてもわかりやすく聞きやすかったです。ありがとうございました。
131	自分の知らないことばかりでしたが、分かりやすく説明してくださったので少し理解できました。来年は事前に勉強してから講演会に参加しようと思いました。
132	自分の未来に非常にためになったと思いました。循環器について良く知りたいと思いました。
133	まだまだ知識が足りていないなと感じた。実際の手術の映像を見ることができてよかった。
134	今回の講演会を通して、現場での臨床工学技士の在り方や仕事の内容などについて実情を知ることができました。また、今回は主に人工心臓(特に心臓)についてのお話でしたが、今後臨床工学技士免許を持っている医療機器開発メーカーの方の話などをお伺いする機会があれば嬉しいです。
135	心臓手術の分野はとても奥が深く難しい分野だなと感じました
136	今回の研究会では手術等の他に、今の病院の状況や在り方についてをわかりやすく教えていただきました。これからも、病院の状況も変わっていくと思われるので、その中でどのようにして働いていくか、ということに向き合うことも必要だと実感しました。
137	医療現場のリアルな現状と心臓外科と臨床工学技士との関わりを知れてものすごく将来働くモチベーションが上がった。自分が最も感銘を受けたのは山崎先生の講演の何気ないものが自分の今後のライフワークになっていくという話である。この言葉を受けて、卒業してからも色々なことにチャレンジできる人間になっていきたいと考える。
138	貴重な講演ありがとうございました。 医療での実際の現場の状況や最新の技術を使った手術法、人工心臓の成り立ちなど言葉にするのは大変難しいのですが、普段みることの出来ない、そして聞くことの出来ないたくさんのことを教えていただき非常に勉強になりました。
139	今後に生かしていきたいと強く思いました。 貴重な機会をいただいてありがとうございました。